

◎28年度一般会計補正予算の概要

○1億4366万円を追加し、予算総額を50億704万円にする

○臨時福祉給付金事業（国補助）1496万円

①住民税非課税の方に3千円を給付

②障がい者・遺族年金者の方に3万円を給付

○花とハーブの里事業推進の”地域おこし協力隊員”1名を採用 198万円

○海外販路開拓等推進事業 500万円

・国の地方創生推進交付金（50%交付）を用い、池田町、安曇野市、松川村の広域連携で日本酒・ワサビ・リンゴなどの海外販路を増やし、海外観光客の増を図る。

○地域交流センターの東側用地（商業活用エリア）取得 6,543万円

○道路・河川改修事業（自治会要望など） 2,206万円

○松本山雅ホームタウン事業 45万円

・小学校6年生に11月10日のロアッソ熊本戦をアルウィンで観戦してもらう

【町長】 10月以降、2名の移住定住対策の「地域おこし協力隊員」を採用

【福祉課長】 後期高齢医療保険加入者への補助及び補助金額の増額は財源的に可能なので来年度予算で検討する。

【薄井】 高齢者が元気に働ける環境整備として人間ドック補助金を後期高齢医療保険加入希望者にも支給を。また、補助金額の増額を。

2. 人間ドック補助金の増額などについて

【町長】 他機関との連携は必要で、検討する。

【薄井】 茨城県常総市ではタイムラインで避難勧告の発令時期を市長が国機関と直通電話で相談するとしている。町対応は。

【総務課長補佐】 策定に向け、検討していく。

※タイムラインとは、台風襲来に合わせ、数日前から何時・だが・何を行うかを定めた計画

【薄井】 台風災害などの大雨対応として事前災害行動計画（タイムライン）の策定が有効である。町にあったタイムラインの策定を。

※総合評価方式とは、入札額技術力・技能労働者の労働条件の改善努力などの項目を点数で評価し、総計で最高点の業者に落札する方式

【総務課長】 最低制限価格は見直しを検討したい。

【薄井】 改正品確法を活かすため、工事予定額に対する落札額の比率（最低制限価格）をひき上げられないか。また、落札者の決定に総合評価方式の導入を研究検討できないか。

【総務課長】 業者に国の通達内容はしっかり伝えたい。

【薄井】 国は建築工事の品質を確保し、技能労働者の雇用条件を改善するため法律を改正し（改正品確法）地方自治体にも要請文書を出している。町はこの要請により入札業者の指導を。

3. 大型建築工事の入札について

【町長】 それらも含め検討し周知していく。

【薄井】 役場に移住定住の窓口を設け、町のホームページで宣伝し、電話相談に「地域おこし協力隊員」が担当するなどの措置がとれないか。

し、空家対策を進める。係を置くかは来年4月からの組織改正で検討する。

町議会9月定例会

◎平成27年度決算を認定、28年度一般会計補正予算案などを可決
共産党議員も意見を述べ賛成

町議会9月定例会は9月8日（21日）まで開かれました。27年度会計の決算認定・28年度補正予算案などを審議し、全て認定・可決しました。その概要をお知らせします。なお、詳細は後日「池田民報」で報告します。

◎27年度一般会計決算の認定に賛成討論

服部議員が賛成討論を行いました。その概要は次のとおりです。

【評価すべき点】

○バス運行事業で割引回数券や定期券利用で改善措置がなされ、乗客増につながった。

【留意・要望点など】

○町税など未納額の解決に当たっては、法にのっとり、個々に即した対応をとらねばならない。

○来年度から介護保険の要支援の訪問介護と通所介護が町の事業となる。町民サービスの低下にならないように努力され、支援者の養成に努められたい。

《私の一般質問と町回答の概要》

1. 防災対策について

【薄井】 防災対策を進める職員体制は。

【町長】 10月から防災担当職員1名を庁内から配置する。来々4月から防災の専門知識を持たれた方を外部から登用し、2名体制で進めたいと考えている。

【薄井】 8月1日のゲリラ豪雨により吾妻町で越水が発生した。対策は。

【振興課長】 多面的機能支払交付金の長寿命化補助金により地元協議会で対応可能か協議する。

【総務課長】 策定に向け、検討していく。